

「学ぶ」とともに地域に仕事を創る

「コミュニティ・ビジネスを検討

市長 大学の運営には、将来的にNPOなどに担っていただく必要がありませぬ。

私は、元気大学の機能として、学びの成果をコミュニティ・ビジネスという形で地域に活かしていきたいと考えています。コミュニティ・ビジネスというところが、農産物を例にしますと、農業の学習を修了後、安全・安心な農作物を育て提供します。さらに、その野菜を使って新しいメニューを開発して販売する。生産したものに商品開発などをして付加価値をつけ、ビジネスに上げるというものです。

また、地域事情や経営などの基礎教育を学び、その知識があつて仕事をすれば面白さも増すのではないでしようか。

平郡三穂子氏(幹事)



子育てサークル ふたばくらぶ ママのポケット 実行委員

そのためには、専門的な分野を学ぶ前に、基礎的なものを学ぶことが大切です。検討委員会でも狭山市の歴史や地域を知る必須講座なども検討しています。

嵯峨座 元気大学には、学びの成果を地域に活かす機能を果してもらいたいですね。より実践的なものが学べる講座も開催したいとこ

猪股睦夫氏(幹事)



柏原地区まちづくり協議会 会長 副会長

ろです。私も以前、アメリカで語学の勉強のためコミュニティカレッジでお世話になり、大変助かったことを今でも忘れませぬ。

市長 そうですね、そのような講座があれば、学習意欲が増すと思います。

猪股 場所、地域、人のニーズを把握し、常に正しい情報を持っていなくては行かないですね。

市長 子育ての教育を受けた人や環境の学習を受けた人が、市の関係ある部署の臨時職員として働く…。行政サービスの仕事を市民が担うことも考えられます。

山本 「教えました。卒業させました」だけでなく、学習成果を確認する認証部会も運営の中に考えておいたほうがよいですね。

猪股 そのためには、卒業した人がどういう活動をしているか、後追いの調査も必要だと思います。実績を積んでいけば大学のレベルアップにもつながります。

山本 変化の大きい時代だからこそ、市民にとって、学べる場所があるということが大切なことです。

平郡 引きこもる若いお母さんも多くいます。学び、仕事をしたいと考えている人には行きやすい、分かりやすいことが必要です。そし



て、資格が取れ、大学で学んだと胸を張って言えるような学校になることを期待しています。

猪股 子育て中のお母さんたちが、大学にふらっと立ち寄れるような場所にもなればいいですね。

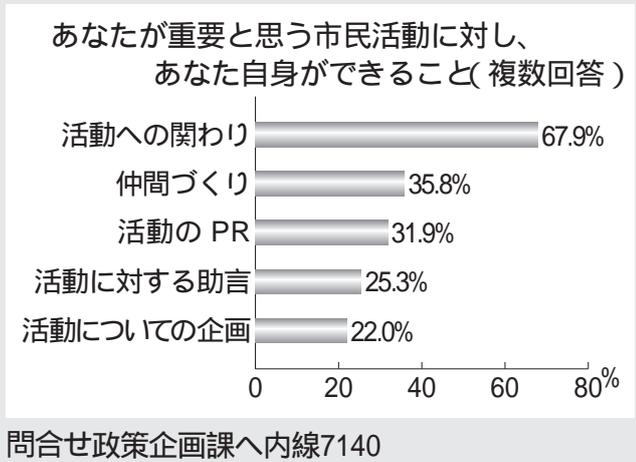
市長 子育て中のお母さんたちにも元気大学を知ってもらうため

(仮称) 狭山元気大学開設に関する市民アンケート調査 活動に参加したい...約68%が意欲

11月、市では、住民基本台帳から単純無作為抽出により、市内在住の満18歳以上74歳までの男女1,500人を対象に、市民活動への参加状況や元気大学に求めるものをお聞きするため、アンケート調査を行いました。

427名(回収率28.4%)の皆さんに回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

調査結果は、2月中旬から政策企画課、市役所2階行政資料室、地区センター、ホームページでご覧いただけます。



嵯峨座晴夫氏(副委員長)



早稲田大学名誉教授
(専門/人口学)

全国に誇れる狭山スタイルの大学 学びの楽しさを実感してもらいたい

に、例えば、3歳児健診のときに単発の託児所付きの講座を開催するなど、人を集める手段やプログラムも必要ではないでしょうか。
平郡 おせち料理やだしの取り方

市長 最後になりますが、皆さんの元気大学への期待や課題をお聞かせください。
山本 全国には、さまざまな市民大学がありますが、市民の考えを最大限活かし、全国に発信できる、

など、日本の文化を学びたいという外国の人も多くいます。そういう方に、地域で教えることができ、人を養成する講座があってもいいですね。

市民が自慢できる大学をぜひつくりたいですね。

嵯峨座 当初は財政的な支援が必要ですが、将来は行政に頼らず採算の合う学校にしたいです。ビジネスのあり方が問われている現在、コミュニティ・ビジネスの狭山モデルを作り、全国から見学の人たちが多く来て、その対応に悲鳴を上げるぐらいの話題性がある大学になることを期待しています。

猪股 地域の行事を行って感じているのは、若い人の参加が少ないことです。元気大学には、多くの若い人にも参加してもらいたいです。また、芸術的な分野も含め、元気大学が盛り上がりがばと思っております。
平郡 委員として参加させてもらい半年が過ぎました。これまで、委員会で議論を重ねていく中で、他の委員の皆さんからいろいろなお話を学ばせていただきました。人

から影響を受ける事の楽しさは、わくわく・どきどき感を感じます。市民の皆さんにも、この大学をおして、学ぶことの楽しさを体験してもらいたいです。そして、びっくり箱のような大学になってくれればと思います。

市長 地域コミュニティをつくる学習にコミュニティ・ビジネスの視点を加えた学びは、これまで公民館などにはありませんでした。

元気大学が、学びの成果を地域に活かしていく。そのことが、私の唱えている、元気な狭山をみんなでつくる「につながることだと考えています。そして、ここで一番大切なことは、みんなでつくることです。

今年は、「家族の絆(絆)地域の絆を大切にすることを市民の皆さんに発信したいと思っています。みんなの手をつなぎ、助け合って素晴らしい狭山を目指していきたいと思えます。

本日は、検討委員会の皆さんには貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

(仮称)狭山元気大学についてのご意見などをお寄せください。お待ちしております。

ご意見・問合せ政策企画課へ